

令和8年度 奈良県防災気象講演会

紀伊半島大水害から15年 ～次の大雨災害から命を守るために～

2026年

11月15日[日]

13:30～15:50(開場 13:00)

会場 大淀町文化会館(あらかしホール)

参加費無料

定員:先着600名

※事前申し込み制



出典:紀伊半島大水害の記録(奈良県)



出典:紀伊半島大水害の記録(奈良県)

紀伊半島大水害から15年。

もし今、あの時と同じような豪雨が来たら、あなたは避難の判断ができますか？

災害は、いつ、どこで起こるかわかりません。

そして、**忘れたところにやってきます。**

災害発生当時のことを振り返りながら、命を守るために知っておきたい「防災気象情報」の見方についてわかりやすくお話しします。

最後に、講演のまとめとして、奈良地方気象台長の廣尾進氏より、2030年頃の気象業務を見据えた気象庁の取組についてご紹介します。



■ 紀伊半島大水害で発生した土砂災害への対応

竹下 航(たけした わたる)氏

国土交通省近畿地方整備局紀伊山系砂防事務所長

平成24年国土交通省入省。国土交通省国土技術政策総合研究所主任研究官を経て、令和6年度より現職。紀伊半島大水害以来、紀伊山系で崩壊地拡大や土砂流出による災害から生命・財産・社会基盤を守るため砂防事業を実施。



■ 命を守る防災気象情報 ～近年の改善・進化と気象キャスターの想い～

片平 敦(かたひら あつし)氏

気象予報士・防災士

テレビでの解説に加え、講演会、イベント出演などで活躍。平時は楽しく分かりやすく、災害時には命を守る解説を心がけ、関西を拠点に地元密着の「天気町医者」を目指す。いざという時に心に響く解説を模索し、風水害などの被災地へ現地調査にも足を運ぶ。

共催：奈良地方気象台、奈良県、(一財)気象業務支援センター

後援：近畿地方整備局紀伊山系砂防事務所、株式会社奈良新聞社、地球ウォッチャーズー気象友の会ー

プログラム

13:30 開会

13:35-14:25

国土交通省近畿地方整備局

■ 休憩

■ 命を守る防災気象情報 ～近年の改善・進化と気象キャスターの想い～

■ 2030年頃の気象業務を見据えて ～予測技術の進化と気象庁の取組～

奈良地方気象台長 廣尾 進 氏

15:50 閉会

会場ご案内

〔所在地〕 奈良県吉野郡大淀町桧垣本2090

◆電車

◆お車

駐車場 230台（無料）

※可能な限り公共交通機関でお越しください。



お申し込み方法

「<https://forms.cloud.microsoft/r/yWhSN6VidA>」
にアクセスし、お申し込みください。

締切：2026年10月30日（金）

先着順に受付し、定員（600名）に達し次第、締め切らせていただきます。

なお、定員に達した場合は奈良地方気象台ホームページにてお知らせします。

※お申込みいただいた内容は、本講演会実施以外の目的で使用することはありません



注意事項

- ・ 会場内での写真や動画の撮影、録音はご遠慮願います。
- ・ 気象状況等により、やむを得ず中止することがあります。中止の場合は奈良地方気象台のホームページ（<https://www.data.jma.go.jp/nara/>）にてお知らせいたします。



お問い合わせ先 奈良地方気象台 電話：0742-22-2556（平日09:00～17:15）